



編集委員会

山本正嘉（編集委員長）^{1) 2)} 西菌秀嗣²⁾ 藤田英二²⁾ 高井洋平²⁾

¹⁾鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター長 ²⁾鹿屋体育大学スポーツ生命科学系

編集後記

トレセン報告書をお届けします。本センターでは過去数年間にわたり、「子供貯筋」「アスリートドック」という2つのプロジェクトを、大きな柱として行っています。

前者は、学校教育の中でできる短時間の運動により、体力に加えて学習能力を改善しようとする試みです。後者は人間ドックのスポーツ選手版という意味です。ジュニアから一流のアスリートまで、体力・技術・パフォーマンスの測定を定期的に行い、その結果を選手やコーチにフィードバックすることで、種目やレベルに応じた適切な向上に寄与しようとするものです。

スポーツ選手に限りませんが、人間がよりよいあり方を目指す上で、現在の様子を可視化して評価することは重要なことです。本報告書もその一里塚としてまとめました。今後ともご指導ご支援をお願い申し上げます。
(山本正嘉 記)

スポーツトレーニング教育研究センター沿革

平成5年(1993) 7月1日 文部省から、平成5年度大学改革等調査経費 示達 「少年期からの発達段階に応じた科学的なトレーニングと効果的な指導体制の在り方に関する調査」	平成11年(1999) 4月1日 特別研修員 西園和昭 5月18日 トレーニング環境シミュレータ 竣工式
平成6年(1994) 4月1日 スポーツトレーニング教育研究センター設置準備特別委員会発足 5月20日 スポーツトレーニング教育研究センター設置 センター長事務取扱に河野 眞副学長就任 10月1日 西菌秀嗣助教授 体力科学講座から学内移動	平成12年(2000) 3月19日 第12回トレーニング科学研究会開催 20日 4月1日 特別研修員 石田尾行徳
平成7年(1995) 3月1日 金高宏文講師 コーチ学講座から学内移動 4月1日 初代センター長に會田 勝教授就任 特別研修員 西村信一 研究協力校(鹿児島南高等学校・鹿屋高等学校・谷山中学校・第一鹿屋中学校・横川中学校)を指定	平成13年(2001) 4月1日 第4代センター長に西菌秀嗣教授就任 研究協力校(鹿児島南・南大隅高等学校、谷山・花岡中学校、鶴羽小学校)を指定
平成9年(1997) 3月28日 スポーツトレーニング教育研究センター棟竣工 4月1日 第2代センター長に平田文夫教授就任 特別研修員 池畑辰也 特別研究員 上海体育学院 陳 佩杰 教授 5月8日 スポーツトレーニング教育研究センター棟竣工記念式典を挙行政	平成16年(2004) 研究協力校(鹿児島南・南大隅高等学校、花岡・鹿屋東中学校、鶴羽小学校)を指定 加賀谷善教講師着任
平成10年(1998) 4月1日 第3代センター長に大平充宣教授就任 山本正嘉助教授着任 特別研修員 佃 省三 研究協力校(鹿児島南・樋脇・南大隅高等学校、谷山・桜島・横川中学校)を指定	平成18年(2006) 8月1日 第5代センター長に山本正嘉教授就任
	平成19年(2007) 4月1日 研究協力校(鹿児島南・南大隅高等学校、大隅・花岡中学校、鶴羽小学校)を指定
	平成20年(2008) 4月1日 藤田英二講師着任
	平成22年(2010) 4月1日 研究協力校(鹿児島南・南大隅高等学校、帖佐・大隅中学校、鶴羽小学校)を指定
	平成22年(2010) 4月1日 高井洋平助教着任
	平成23年(2011) 4月1日 教員組織の改組により、これまでのセンター所属教員はスポーツ生命科学系に所属することとなり、その上で山本がセンター長、西菌、藤田、高井がセンター兼務担当教員となる

平成28年3月31日 印刷

平成28年3月31日 発行

発行者 鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター

発行所 鹿屋体育大学
鹿屋市白水町1番地(〒891-2393)
Tel 0994-46-4922

印刷所 榊朝日印刷
鹿児島市上荒田町55-1(〒890-0055)
Tel 099-251-2191

表紙写真：これまで指導者が主観（経験や勘）により定性的に評価してきた選手の様子を定量化して捉える試みをしています。この写真は、なぎなた競技における打突時の「気剣体」のよしあしについて、visual analog scaleという手法を用いて定量する実験の様子です（本文のp13~19を参照）。